

令和6年度 横須賀高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	法令等を遵守する意識の向上を図り、公務外非行等を防止する。	○職員行動指針の周知徹底を図った。（4月）指針を事故防止に取り組む姿勢を再確認した。 ○コンプライアンス意識の醸成に向けて職員啓発資料等をもとに教職員全員を対象にした職場研修を行った。（2月） ○各グループ、教科、学年での話し合いや連絡などを通して意識の向上を図った。（通年）
セクハラ・わいせつ行為の防止	人権に配慮しセクハラ・わいせつ行為を防止する。	○職員啓発資料等を基に教職員全員を対象にした職場研修を行った。（6月） ○教職員全員を対象とする研修会（講演会＊ネットの危険性）を行い、生徒の人権を意識した適切な接し方を徹底した。（8月） ○職場のハラスメントの防止に向けて注意喚起を行った。（1月）
体罰・不適切指導の防止	生徒の人権を尊重した態度で指導にあたり、体罰や不適切指導の防止を図る。	○部活動インストラクターと年度当初に面談を行い体罰防止、個人情報管理、部活動の主旨を確認。（4月） ○職員啓発資料等をもとに教職員全員を対象にした職場研修を行った。（8月）
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いにかかる事故防止	成績処理、調査書作成、定期試験、入学者選抜における事故防止を図る。	○試験実施後の答案の管理、採点及び生徒へのフィードバック等の処理期限などを徹底した（4月） ○進路関係書類の管理・発行にあたり、複数の職員で確実な点検を徹底した。（通年） ○新しい入学者選抜におけるシステムの運用・資料の作成及び管理を、マニュアルを改定し適切に行った。（12月）
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流出を未然に防止する。また、公文書の取り扱いには十分な配慮・チェックを行い、事故の起こらない体制を維持する。	○職員啓発資料等をもとに、教職員全員を対象にした職場研修を実施した。（4月） ○「個人情報対策重要度分類表」等に従い、個人情報の適切な管理に努めた。（通年） ○個人情報持ち出しに関するルールの実施を徹底した。（4月及び随時）
会計事務等の適正執行	私費を適正かつ公正に執行することにより、事故を未然に防止する。備品の現物照合を確実に行う。	○「私費会計事務処理の手引」に基づき、私費の適正な処理のポイントを職員会議で確認し、徹底を図った。（10月） ○財務事務調査での指摘事項を基に、教職員全員に適切な会計処理を求める職場研修を行った。（10月） ○部活動費も各部ごとの通帳管理を徹底し、適正な処理に努めた。（通年）
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守の徹底により交通事故を防止する。	○職員啓発資料等をもとに、教職員全員を対象にした事故防止研修を実施した。（11月） ○交通事故に関しては軽微なものも速やかに報告するよう職員の意識喚起を行った。（11月）

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事ゼロプログラムに基づいて、項目ごとに設定した対策で不祥事防止に取り組んだ。毎月の職員会議後に事故防止研修会を実施し、朝の打ち合わせや各会議において必要なテーマで事故防止の啓発を迅速に行なった。さらに、新聞記事や関連通知を通じて職員に事例や防止方法を共有し、日常的に事故不祥事防止に努めると同時に、業務遂行時に様々な状況を想定し、事故不祥事を防ぐための指導を徹底している。

令和7年度も引き続き、日常的に実践的な取組を推進していく。ヒヤリハット事例に関しては、他校の事例を含めて情報共有を行い、必要な改善を実施する。生徒と職員間の世代間ギャップを考慮し、セクハラやジェンダーに関連する問題発言がないよう日常的なコミュニケーションの中で注意喚起を行う。また、ICT環境整備に伴い、情報セキュリティ対策を徹底する。転入生や臨時職員、非常勤職員、部活動インストラクターなどに対しても、しっかりと事故防止に向けた啓発を行うための面談などを行っていきたい。